

緑のカーテン取り組み情報



お名前(ニックネーム)	内藤 邦雄さん (甲府市)		
育てた植物の種類	ゴーヤ(6本)、西洋朝顔(3本)、日本朝顔(1本)		
設置場所	南側窓1箇所、西側小窓2箇所		
カーテンの大きさ	高さ: 約 2.7 m, 幅: 約 12 m	取り組み年数	6年目

緑のカーテンの効果

屋間は雨戸を半分と厚手のカーテンを閉めて、外気(熱風)を室内に入れなかったことによって、猛暑日でも室温は31℃～33℃に収まりました。エアコンは使用せずにクールビズと扇風機で過ごしています。就寝時に室温が30℃を超えているときは、温度設定29℃で3～4時間エアコンを使用します。今年の電気使用量は、昨年並みで7月は97kWh、8月は147kWhでした。

朝、ガラス窓を開けた時に入ってくるゴーヤの香りに癒されました。

育てる際の工夫・苦労

6年目の今年は、朝顔にも取り組みました。ゴーヤは子芽・孫芽がよく出るので、緑のカーテンづくりに適しています。堆肥等の有機肥料をしっかり入れて、通気性と保水性に配慮し、連作障害が出ないように地力をつけることに留意しています。施肥は、微量要素入りの固形肥料を2週間ごとに、水やりは、真夏日には朝、昼、夕に行いました。しっかりした土づくりが前提ですが、ゴーヤは病害虫の心配は不要です。

感想・楽しみ方など

収穫したゴーヤは、バナナと牛乳と一緒にミキサーにかけてゴーヤジュースにしたり、ゴーヤチャンプルや塩こんぶ和えにして食べています。

例年は、6月中旬に緑のカーテンが仕上がりますが、今年は4～5日ほど遅れました。全てプランターで栽培して、水やりもしっかり行いましたが、猛暑日が続いたためか8月に入って下端の葉の痛みがひどくなりました。